PARAMOUNT BED

取扱説明書

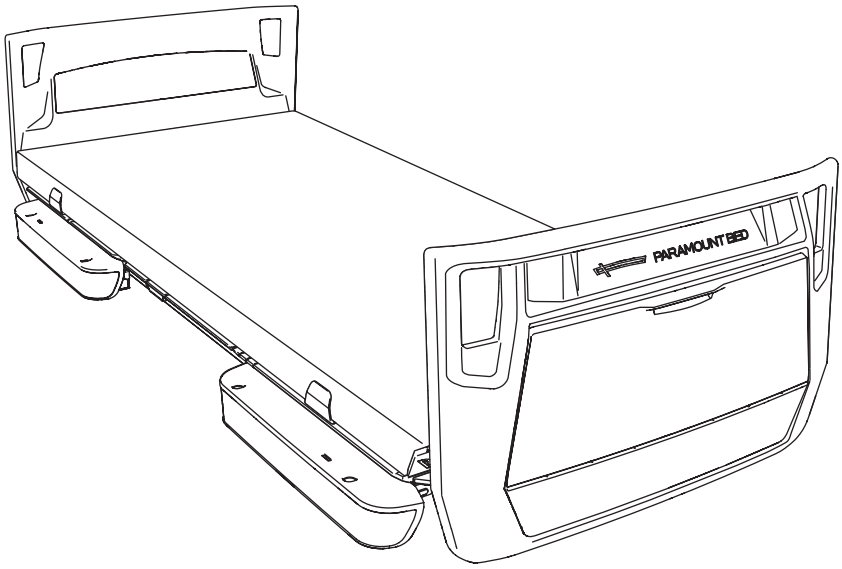
保証書別添

介護用ベッド

楽匠プラスシリーズ

楽匠プラス

KQ-A0＊＊＊
KQ-A1＊＊＊
KQ-A2＊＊＊
KQ-A3＊＊＊
KQ-A4＊＊＊



※イラストは別売のマットレスを取付けた状態です。

まえがき

このたびは、**介護用ベッド楽匠プラスシリーズ**をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この「取扱説明書」には、ベッドを安全にお使いいただくための注意事項と使用方法などを記載しています。

- **ベッドをお使いになる前に、必ずこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しく安全な取扱方法を理解してください。**
- **ベッドで療養する方ばかりでなく、介護する方もこの「取扱説明書」をよくお読みください。**
- **この「取扱説明書」はお読みになった後も、いつでも見られる場所に保管してください。**
- お買い上げの製品は改良などにより、この「取扱説明書」の内容と一部異なる場合があります。
- 動作範囲・寸法・角度・質量などの数値の記載がある場合、その数値には多少の誤差が含まれます。特別なものを除きこの「取扱説明書」では、表示を見やすくするため、約・およそといった言葉を省略しております。
- ご不明な点がありましたら、お買い上げの販売店または直接弊社までお問い合せください。
- このベッドは日本国内専用です。海外では電源電圧が異なるため使用できません。

↑楽匠プラスシリーズの使いかたを確認できます。

↑介護用ベッドの役割を確認できます。

パラマウントベッド株式会社

7F11692800A2

13 緊急時のベッド操作のしかた

災害などによる停電時、ベッドの故障などの緊急時に、背ボトムがさげられなくなった場合は、以下の方法で背ボトムをさげることができます。

停電以外の理由で背ボトムがさげられなくなった場合は、「12 故障かな？と思ったら」(68・69ページ参照) に従ってチェックを行い、ベッドが故障している場合には、販売店またはパラテクノコールセンター(153ページ参照)までご連絡ください。

⚠注意

手動による背さげのしかた/戻しかたの作業は、2人以上で行ってください。手や腕などをはさまれて、けがをするおそれがあります。

1.手動による背さげのしかた/戻しかた

背さげのしかた

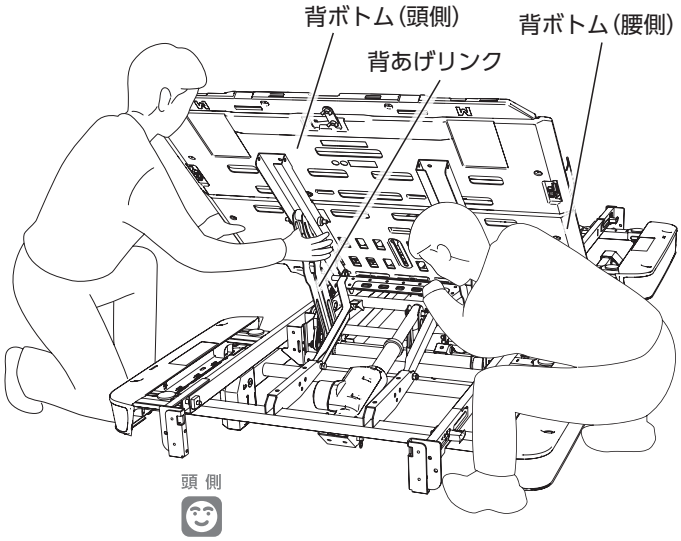
使用する工具	ペンチ・プライヤー(小)

① ベッドの電源プラグを、コンセントから抜いてください。

② ベッドを使用する方にベッドから降りていただき、寝具・マットレスなどをベッドから降ろしてください。

③ ヘッドボードを取外してください。(141ページ参照)

④ 背ボトム(腰側)と背あげリンクを支えてください。



⚠注意

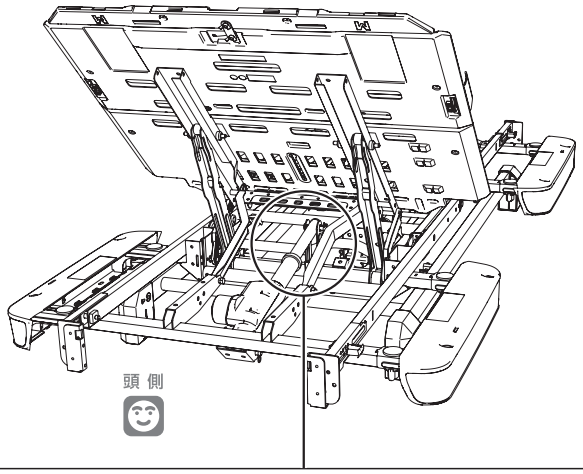
- **手動による背さげのしかた/戻しかたの作業は、背あげリンクをしっかり持ってください。背あげリンクがさがり、けがをするおそれがあります。**
- **背ボトム(頭側)を持って作業を行わないでください。背ボトムが不意に動き、背あげリンクなどがさがり、けがをするおそれがあります。**

13 緊急時のベッド操作のしかた

⑤ 背アクチュエーター先端の連結ピンについているスナップピン(赤)を取外してください。

⑥ 連結ピンを取外してください。連結ピンを取外すと、背あげリンクが自由に動くようになります。

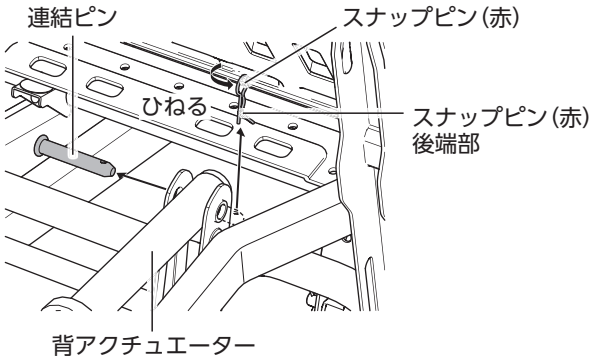
取外した連結ピンは、元の状態に戻すときに使用しますので、紛失しないように保管してください。



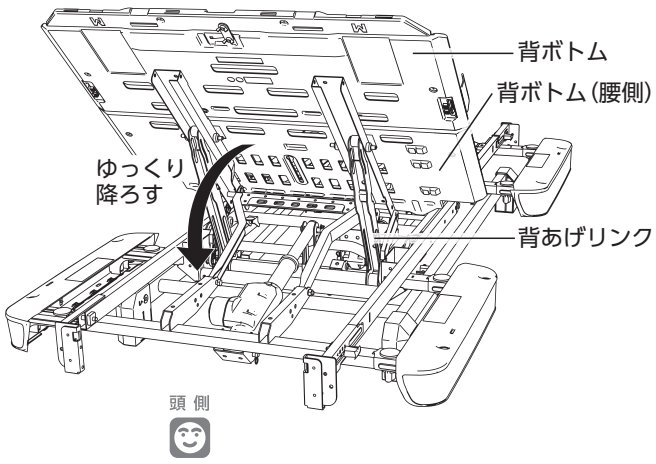
スナップピンの抜きかた

スナップピン(赤)を、図の方向にひねり、そのままスナップピン(赤)の後端部を押して、ピンを抜いてください。

※ペンチで先端部をはさんで引っ掛けて作業を行うと、取外しが容易です。



⑦ 背あげリンクをゆっくり降ろしてください。



⑧ ヘッドボードを取付けてください。(125ページ参照)

この作業を行ったときは、停電や故障から復帰後、元の状態に戻すまで、電源プラグはコンセントから抜いたままにしておいてください。

戻しかた

停電時は、電源の復帰後、以下の手順でベッドを元の状態に戻し、「4 組立後の点検」(131～139ページ参照)に従って点検を行ってください。

① ベッドを使用する方にベッドから降りていただき、寝具・マットレスなどをベッドから降ろしてください。

② ヘッドボードを取外してください。(141ページ参照)

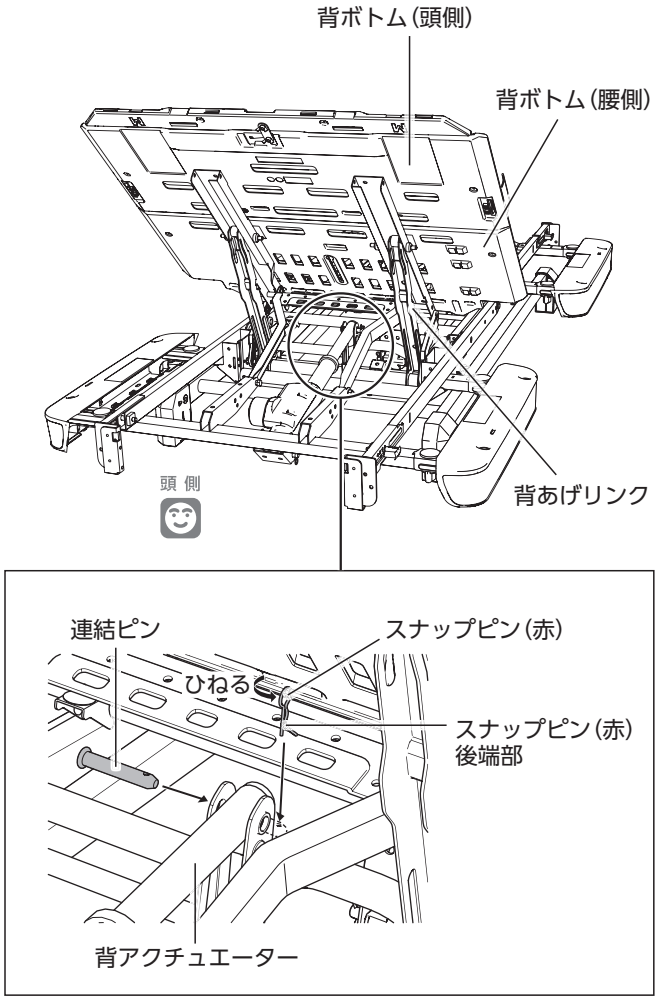
③ 背ボトム(腰側)と背あげリンクを持ちあげて、支えてください。

④ 背アクチュエーターを持ち、先端の穴とブラケットの穴の位置をあわせ、連結ピンを差込んで、スナップピン(赤)で固定してください。

連結ピンは、手動で背さげしたときに取外したものを使用してください。

⚠注意

- **背ボトム(頭側)を持って作業を行わないでください。背ボトムが不意に動き、背あげリンクなどがさがり、けがをするおそれがあります。**
- **スナップピン(赤)は、再利用しないでください。ベッドが破損してけがをするおそれがあります。新しいスナップピン(赤)は、販売店またはパラテクノコールセンター(153ページ参照)までご依頼ください。**



⑤ ベッドの電源プラグをコンセントに差込んでください。

⑥ 手元スイッチを操作して、背ボトムを一番下までさげてください。

⑦ ヘッドボードを取付けてください。(125ページ参照)

13 緊急時のベッド操作のしかた

2.スマートハンドルによるベッド操作のしかた

⚠注意

ハンドル操作時は、ベッドの電源プラグがコンセントから抜けていることを確認してください。ハンドル操作中に誤ってベッドの手元スイッチの操作ボタンが押されると、ベッドが故障するおそれがあります。

- **スマートハンドル（KQ-P70S:別売）をベッドに取付けることにより、「背あげ/背さげ」「膝あげ/膝さげ」「高ささげ」の操作を行うことができます。**
- **スマートハンドルの収納ケース内に、スマートハンドルの取扱説明書が同梱されています。そちらもあわせてご覧ください。**
- **スマートハンドルは停電時やベッドの故障※などの緊急時に、すぐに使用できるよう収納ケースに保管してください。**
  ※故障内容によっては、スマートハンドルによる操作ができない場合があります。
- **楽匠プラスシリーズは、収納ケースをベッドのフレームに取付けることはできません。**

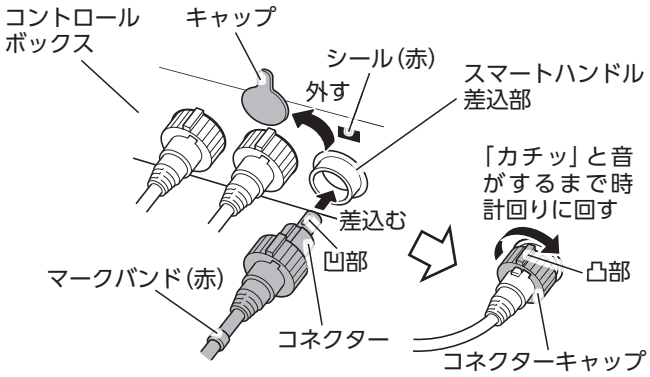
1. スマートハンドルの取付けかた・取外しかた

【スマートハンドルの取付けかた】

① ベッドのコントロールボックスのスマートハンドル差込部（シール：赤）のキャップを取外してください。

② スマートハンドルのコネクターを、ベッドのコントロールボックスの差込部（シール：赤）に差込んでください。

③ コネクターキャップを「カチッ」と音がするまで時計回りに回してください。



【スマートハンドルの取外しかた】

① 使用後は取付けと逆の手順でスマートハンドルを取外し、収納ケースに入れて保管してください。

取外したキャップは、コントロールボックス保護のために、必ず元通りに取付けてください。

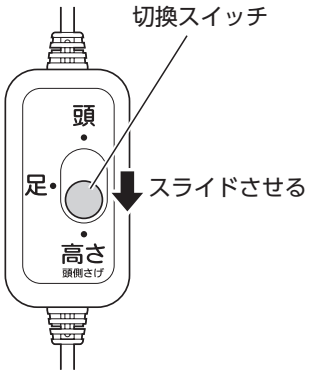
2. 操作のしかた

① 切換スイッチを操作したい位置にスライドさせてください。

背あげ/背さげ

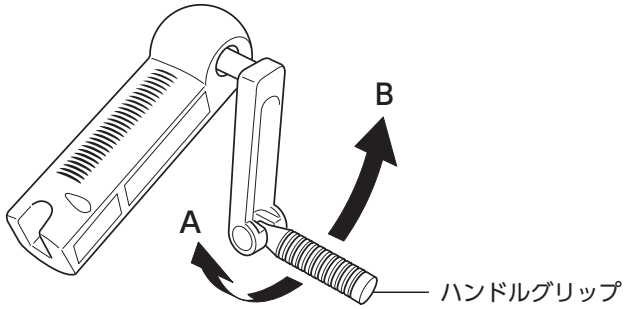
膝あげ/膝さげ

高ささげ



② ハンドルグリップを回すとベッドが動きます。

	ハンドルグリップを回す方向	
	A	B
頭	背があがる	背がさがる
足	膝がさがる	膝があがる
高さ	−	高さがさがる



切換スイッチの「高さ」の下側に「頭側さげ」と記載されていますが、ベッドの高さがさがります。